

第5学年1組 学級活動（3）指導案

令和6年6月24日（月）5校時

荒川区立峡田小学校

第5学年1組32名

研究主題 自分のよさを見つけ、学び合うキャリア教育の実践

1 題材名 「よりよい委員会活動に向けてパワーアップ！」

（イ 社会参画意識の醸成や働くことの意義の理解）

2 題材について

（1）児童の実態

高学年になって始まった委員会活動や運動会の係活動では、自分の仕事に責任をもって取り組もうとする姿が見られ、高学年としての自覚が感じられるようになってきた。

学級会は、最初に学級会オリエンテーションを行った。その後、「仲良くなろうね集会をしよう」を議題として話し合い、学級集会を行った。話し合いの中では、提案理由を根拠に自分の意見を話そうとする児童も出てきている。「話し合いによってよりよいものを創り上げていく。」という意識をもたせていきたい。

学級活動(3)の学習では、「5年生になって」「運動会のめあてをたてよう」を題材とし、「キャリア・パスポート」を活用しながら、5年生としてなりたい自分の姿や、そのために取り組みたいこと、運動会の自分のめあてを意思決定した。5年生から新しく始まった委員会活動や、運動会での係活動を通して、友達や学校のために働いたり、よりよい学校行事にするにはどうしたらよいのか考えたりする児童が増えてきた。

（2）題材設定の理由

5年生の学年のテーマを「パワーアップ」とし、どの活動もみんなのためになるにはどのように取り組めばよいか、考えながら取り組もうとしている。

5年生になって3ヵ月が経ったが委員会活動はまだまだ6年生が中心に委員会活動が進んでいる。1学期の委員会活動を振り返り、「自分に何ができるのか」を考えることで、より主体的に活動ができるのではないかと考えた。本題材を扱うことで、働くことの意義について考えるとともに、自分が学校生活を充実させている一人であること、全校のために活動しているという思いが自己有用感につながると考え、本題材を設定した。

3 第5学年及び第6学年の評価規準

	よりよい生活や人間関係を築くための知識・技能	集団や社会の形成者としての思考・判断・表現	主体的に生活や人間関係をよりよくしようとする態度
第5・6学年	希望や目標をもつこと、働くことや学ぶことの意義を理解し、自己のよさを生かしながら将来への見通しをもち、自己実現を図るために必要な知識や行動の仕方を身に付けている。	希望や目標をもつこと、働くことや学ぶことについて、よりよく生きるための課題を認識し、解決方法などについて話し合い、自分に合った解決方法を意思決定して実践している。	現在及び将来にわたってよりよく生きるために、自分に合った目標を立て、自己のよさを生かし、他者と協働して、自己実現に向けて主体的に行動しようとしている。

4 本単元とキャリア教育で育みたい力（高学年）

- **自**自分で考え、気付く力……………意欲的に考え、課題や解決策、自分のよさに気付くことができる。
(課題対応能力)
- ◎ **友**友達等と関わり、学び合う力……友達の考えを受け止め自分の考えを深めることができる。
(人間関係形成・社会形成能力)
- **ふ**活動の振り返りができる力……………めあてに対しての成果や課題を振り返り、これからの活動にいかす
(自己理解・自己管理能力) ことができる。
- ◎ **見**将来を見通す力……………一定の期間を見通して活動することができる。
(キャリアプランニング能力)

本題材では、委員会活動において自分の活動を振り返りながら、高学年の中心となってよりよく活動していくには、どのように頑張っていきたいかを考える。キャリア・パスポートやスライドで振り返った自分の成長を踏まえ、これからの委員会活動への取り組み方の目標を設定することができるよう、「活動の振り返りができる力」「将来を見通す力」を育むことを意識していく。また、どのように取り組んでいけばよいか、友達と交流し、自分の考えを深めることで「友達等と関わり、学び合う力」を育む場面を見い出すことができる。

5 研究主題にせまるための手立てと研究の視点

手立て①導入の工夫（写真やキャリア・パスポートの利用） 【振り返り活動の充実】

- 児童が1学期の活動を振り返り、これからの活動に向けてより主体的に活動できるようにするため、導入を工夫する。活動中のスライドを振り返ったり、アンケート結果を表示したりし、自分や友達の頑張りや課題に気付くことができるようにする。

(活動の振り返りができる力)

手立て②円形型ホワイトボード・ICTの活用 【深まりのある話し合い活動】

- 児童一人一人の意見を生かし、自分や友達の考えの良さに気付くことができるようにするため、ICTやホワイトボードを活用して交流する。また、委員会の取り組み方をよりよくするため、様々な委員会が混じったグループで交流することで、自分の考えを深めたり他の委員会の友達のよさに気付いたりしながら取り組むことができるようにする。

(友達等と関わり、学び合う力)

手立て③6年生からのメッセージビデオの活用 【深まりのある話し合い活動】

- 6年生が学校を支えるためにどのような思いをもって委員会活動をしているのか理解するために、メッセージビデオを活用する。そうすることで、5年生が気付かない、仕事への思いや取り組み方や、工夫などに気付かせ、どのようなことを頑張っていきたいか考える手だてとする。

(将来を見通す力)

6、事前の活動

6月14日	道徳「かれたヒマワリ」を学習する。
6月18日	委員会活動のアンケートを記入する。(朝の時間)

7 本時の活動

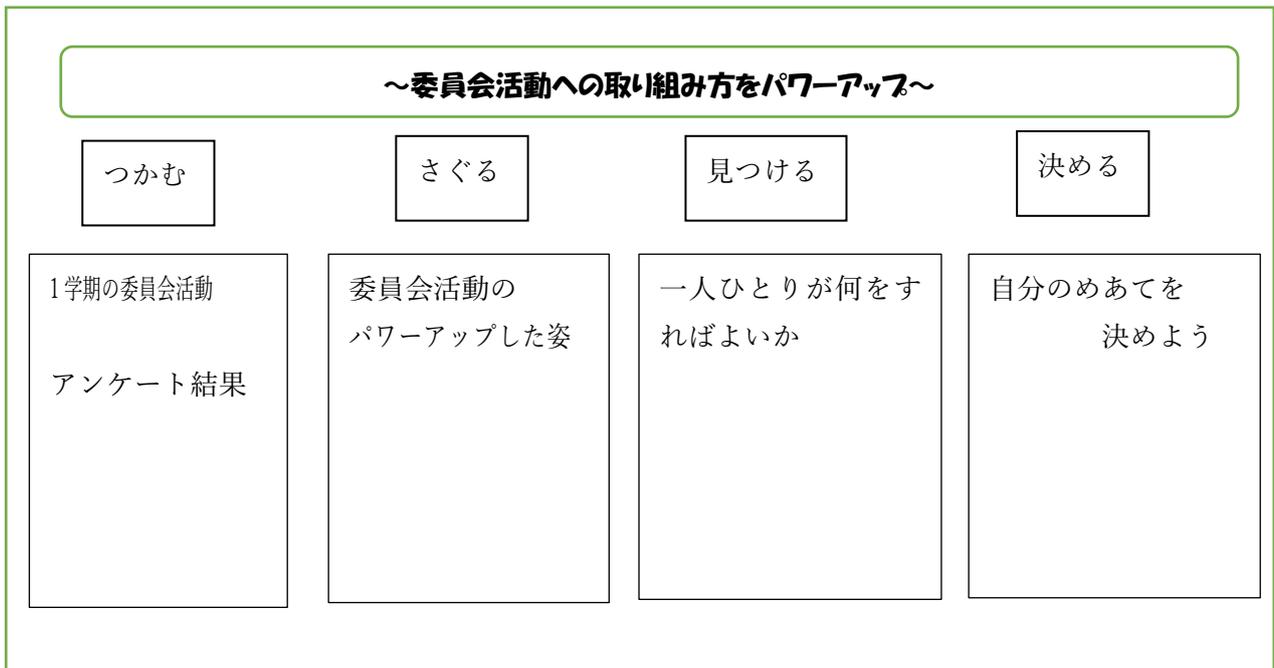
(1) 本時のねらい

委員会活動で役割を果たすことの意義を理解し、パワーアップした自分の取り組み方を決める。

(2) 本時の展開

	児童の活動	◇指導上の留意点	☆評価 ★キャリア教育で育みたい力
つかむ (5)	1 1学期の委員会活動への取り組みについて振り返り、本時の学習内容を知る。	◇キャリア・パスポートの、「5年生としてがんばりたいこと」「委員会カード」から委員会活動を振り返る。 ◇スライドから委員会活動の姿を振り返る。 ◇委員会活動で頑張っていることやどんな思いで取り組んできたかを発表する。 ◇委員会活動についてのアンケート結果を知る。	☆【態】自分たちがさらに主体的に委員会活動をしていくめあてをたてる意欲を高める。 (観察・発言) ★活動の振り返りができる力
「委員会活動への取り組み方をパワーアップ！」			
さぐる (7)	2 パワーアップした委員会の姿を考える。	◇パワーアップした委員会の姿とはどんな姿か出し合う。 ◇6年生からのメッセージ動画を観て、6年生が委員会で果たそうとしている役割について知る。	
見つける (25)	3 そのために一人ひとりが何をすればよいか考える。 4 どのような取り組み方が考えられるか、学級全体で話し合う。	◇委員会活動への自分の取り組み方でパワーアップできそうなことを話し合う。 ◇自分の考えを伝えたり、友達のを考えを取り入れたりしながら交流できるようにするため、円形ホワイトボードを活用する。 ◇グループで書いたことを、全体で共有し、パワーアップにつながることを価値づけたり、考えを広げたりする。	☆【思判表】 パワーアップした姿を明確にし、そのために必要なことについて話し合っている。(観察) ★友達等と関わり、学び合う力
決める (8)	5 自分が取り組むことを意思決定する。	◇これまで話し合ったことをもとに、実践可能な具体的なめあてや実践方法を決めて、ワークシートに記入する。	☆【思判表】 これからの委員会活動への取り組み方についてのめあてをた

		<p>◇何人かに発表してもらい、めあての修正や実践の参考にできるようにする。</p> <p>◇1学期末までの3週間程度実践し、自己評価できるようにする。</p>	<p>て、そのために自分が実践したいことを意思決定している。(ワークシート)</p> <p>★将来を見通す力</p>
--	--	--	--



8 事後の活動

7月16日	3週間の振り返りをする。
-------	--------------